

# 週報

令和 4 年 5 月 20 日

2021~2022年度 No.22

2021-22年度 国際ロータリーのテーマ



奉仕しよう みんなの  
人生を豊かにするために

国際ロータリー会長 シェカール・メータ

## プログラム

S A A 三村 剛孝君

☆点 鐘

☆ロータリーソング斉唱

「我らの生業」

☆四つのテスト斉唱

☆会長の時間

☆幹事報告

☆委員会報告

①親睦委員会

・スマイルボックス報告

☆部内卓話

山里 一郎君

☆点 鐘

☆食事懇談

現在会員				32名					前々回の欠席者(4/22)				9名			
本日	出席	17名	欠席	9名	免除(a)欠席	3名	免除(b)欠席	3名	出席率	65.38%						
前々回	出席	18名	MU	0名	免除(a)MU	3名	免除(b)MU	2名	修正出席率	66.67%						
月別出席率%	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6				
	74.94	休会	休会	81.53	77.59	73.49	85.71	休会	70.49	69.74						
	本年度	83.33	87.63	79.27	76.75	80.65	80.27	全休会(0)	75.93	78.09	82.34	全休会(0)	80.48			

例会場  
例 会  
事務所  
カンパーナホテル TEL(0959)72-8111  
金曜日(12時30分~13時30分)  
長崎県五島市末広町8-4  
福江商工会議所内 TEL(0959)72-3108

会 長 山 下 克 己  
副 会 長 吉 田 泰 之  
幹 事 橋 本 武 敏  
雑誌:会報委員長 出 口 雅 昭

## 会長の時間

会長 山下 克己君

皆様こんにちは。

ここのところしばらく好天気が続いています。ただ日中は少々暑いくらいですが、夜、それも明け方の冷え込みは大変で、昼夜の温度差に体調の方も少し調子が悪くなりそうです。皆様もお気をつけてください。

さて、本日は5月20日、5月度、第2例会、通算第22例会となります。22回目の会長の時間を務めさせていただきます。

前回から「自然に学ぶ」ということを考えています。大方のところ、どなたでも経験によって多くのことを積み上げていくことになると思います。ただ、一個人の経験できることには当然、自ずから限界がある。父親の「鯛は、具合が悪くなると、『タレが喰いたい』と言うんだ」という言葉も、父の多くの経験から出た言葉だと思います。話は逸れますが、タレイワシというのは魚類養殖のエサとしては大変不向きで、出来れば使わないようにしてきました。というのは、タレイワシは劣化するのが非常に早く、傷みやすい。漁獲されるタレイワシの多くが、イリコとして加工されていますが、一番の問題は処理時間の問題とされている。ただ、父は以前、60年程前ですが、当時漁業界では真鯛のかぶし釣り漁が盛んに行われていたようです。その漁法において使われた撒き餌の中でも、タレイワシが一番効果があったことから、そのような言葉が出たものと思います。新鮮なタレイワシというのは入手が困難であったので、多くはキビナゴがその代用として使われたようです。このキビナゴですが、やはり鮮度保持が難しく、これもまた時間との闘いです。しかも、操業時間は夜明け前の数時間に限定されている。というのは、キビナゴが食べたものを排出した後をねらって漁獲する為です。これもまた、鮮度保持の方策の一環です。ちなみに、このキビナゴも栄養価が最低に近いことから、養殖のエサにはなりません。また、養殖の魚も出荷前は、最低でも三日間以上は餌止めをすることにしています。

話が大きく逸れました。人もそうですが、すべての生き物は食べたものでその体を作っている。形こそ違いますが、植物でも、根から栄養を吸収することで大きくなっていく。これが生き物の共通のことであり、課題でもあります。そのことを学ぶことが自然を学ぶこととなるのでは、と思っ

ています。

私は、生き物を育てることを生業としてきました。ある程度その生態系を知らねばなりません。そのためにも、生き物の食物連鎖の関係を知らることが重要だと考えています。

自分の食べ物のことはほとんど考えないのに、魚の食べ物ばかり考えてきました。結果、少しずつ理解が進むうちに、自分のことも考えるようになりました。

人間、健康に優る財産はないと考えています。今後も美味しく、人間の体に有益な食べ物としての魚を作っていくために、多くのことを学べるように務めていきたいと思っています。これまでの経験からすると、魚は健康な状態にあるほど美味しさも増していくように感じています。

ある人から、「養殖は、儲かるか」と聞かれました。返答に困るような質問です。以前話したとは思いますが、「養殖は計算してやるもので、一般の漁業のように成り行きで考えるものではない。」ということ、ある人から指導を受けました。ここで時間になりましたので、魚の健康も、自分の健康も、そして会社の健康についても、機会があれば次の機会と致したいと思います。

以上で会長の時間を終わります。ご清聴ありがとうございました。

## 幹事報告

幹事 橋本 武敏君

『当クラブ関係』

### 1. 定例理事会報告

5月13日に開催されました第7回定例理事会において、本日5月20日の例会、および次回以降の本年度の例会開催について、既にFAXにてお知らせしました通り、12時開会、食事懇談はプログラムの最後で自由参加とすることで決定しました。

ただし、6月24日に予定しております新旧交代式について、次回の定例理事会（6月3日予定）にて開式の時刻、内容等について話し合うこととなりましたので、その結果をもって当日の例会についても改めて話し合うこととなります。

『その他』

1. 例会変更のお知らせ（1件）
2. 福江中央ロータリークラブ週報第23号

## 部 内 卓 話

山里 一郎君

私の事業所はプログラム委員会の委員長をされている寺澤さんの第一生命さんとすぐ近くなのですが、近くにもう一件、日本生命さんの事業所もあります。4月の中旬ごろに巨漢の方が私の事業所の階段を上がって来られたので、テキキリ寺澤さんだと思ったら、たまたま4月から福江支所に赴任されて新任の挨拶に見えられた日本生命の支所長さんでした。

外観は寺澤さんに引けを取らない様な巨漢でしたので、生命保険の業界ではコレが普通なのかとチョット驚いた次第でございます。

ところで、本日は皆さまのメールボックスに先日4月2日に行われた、インターシティミーティングinGOTOの模様を収めた記念DVDをお配りしました。私は記録部会の部会長をさせていただいておりましたので、ようやく記念誌として会員の皆様に、そしてご登録いただいた各RCメンバーの皆様へお配りすることができて、ホッとしたところでございます。記録部会は平村和弘さんが副部会長で、清瀧誠司さん、有川真史さんに写真撮影を協力してもらいました。またDVDの作製とインターネットによるライブ配信については、コ・ホストクラブ福江中央RCの富川会長はじめ五島テレビの皆様や、会場として設営や運営にご協力いただいたカンパーナホテルの皆様にも大変お世話になりました。この場を借りて御礼申し上げます。インターネットによるライブ中継は福江RCとしても初めての試みでしたが、YouTubeを通じて無事発信することができて、今後も活用できる目処がついたと思います。

最後まで見ると三時間半ぐらいのDVDですので、一気に見るのはチョット大変ですが、山下克己会長、吉田実行委員長そして私たち福江ロータリークラブの思いのこもった記念DVDですので、ぜひご覧いただきたいと思います。

プログラムの中で記念講演では、長崎県立五島高校で教員として陸上部の指導をされている藤永佳子先生に講師をお願いしましたが、私が五島高校のPTA会長をさせていただいていたご縁もあって、先生への講師の依頼は山下克己会長、山下実IM副実行委員長と私の三人で五島高校の校長室へお願いに行きました。校長先生は地域のお役に立てるのであればと、即答でお引き受けいただきました。藤永先生はあまり経験がないのでと謙遜

## 委員会報告

### 出席報告

- ◆ 5月20日（免除(a)欠席者）  
中村 博義君 植松 郁雄君 釜崎 洋君
- ◆ 5月20日（免除(b)欠席者）  
谷川 和啓君 佐々野邦久君 吉田 泰之君
- ◆ 5月20日欠席者  
片山 雅文君 松岡 孝博君 谷川 久利君  
有川 真史君 森田 大輔君 出口 雅昭君  
柳田 靖夫君 坂井 成光君 中村 吉廣君

## 親睦委員会

### スマイル報告

- ◇ 山里 一郎君 お聞き苦しい点もあるかと思いますが、最後までよろしく願います。
- ◇ 山下 克己君 山里一郎さん、卓話よろしく願います。
- ◇ 橋本 武敏君 //
- ◇ 清瀧 誠司君 //
- ◇ 中村 栄治君 //
- ◇ 戸田 博之君 //
- ◇ 張本 民雄君 //
- ◇ 山下 実君 //
- ◇ 中村 陽二君 //
- ◇ 才津 喜彦君 //
- ◇ 平村 和弘君 //
- ◇ 小畑 和男君 //
- ◇ 神之浦文彦君 //
- ◇ 西上裕一郎君 //
- ◇ 宮本 光藏君 //
- ◇ 三村 剛孝君 //
- ◇ 寺澤 信義君 //

合計 17,000円  
通算合計 543,000円

されていましたが、講演では堂々とした話しぶりで、さすがに世界で活躍された一流選手でプレッシャーなど跳ね退けて素晴らしい講演になったと思います。

ちなみに、藤永先生は昨年五島に赴任されてからご結婚をされまして、また現在は第一子を妊娠中とのことで、五島高校に赴任されてからおめでたいことが続いていらっしゃるということです。お人柄も朗らかで素晴らしく、私たち五島市民にとっても貴重な人材と思います。これからも、五島高校でのご活躍を応援したい気持ちになりました。

ところで、私の五島高校でのPTA会長としての任期も無事終了いたしました。

副会長は何年か経験がありましたが、会長は初めてでしたので、お役に立てるか不安もありましたが、二人の子供が五島高校でお世話になり、最終年度で私にできる恩返しのためPTA会長を引き受けさせていただきました。コロナ禍に翻弄されているここ数年ですが、私がPTA活動を通して関わった最近の長崎県の高校学校教育の状況についてお話しをしたいと思います。

まず一つ目として、一人一台のタブレットパソコンの導入です。

長崎県の高校では、令和3年度からタブレットパソコンを一人について一台貸与を実施しています。これは全国的にも早いスピードで実現したようです。コロナ禍によるオンライン授業への対応や情報化時代への対応として期待されていますが、活用についてはこれからという感じです。活用の仕方によってはいろんなことができますが、先生方の研修もまだまだ不十分で、逆に子供たちの方が詳しいといった状況も多々あるようです。

#### エアコンの県費による設置

長崎県の高等学校では教室のエアコンの設置費や修繕費、電気料金などを各学校が独自に支払っており、主にPTA会費の一部で支払われてきました。全国的には県の費用で賄われている都道府県が多く、九州では長崎県、佐賀県、鹿児島県のみがPTA負担で、その他の県はすでに県による負担になっているということです。PTAでは以前から他県と同様に県費による負担を要望してきましたが、優先度の観点から先送りされてきたということです。しかし、子供たちの学習環境に不平等があってはならないとの観点から、県議会でも取り上げられて、県費による負担がようやく実現しそうな見込みになったようです。

#### 成人年齢の引き下げ

令和4年4月から法律が改正されて、成人年齢が18歳へ引き下げられました。

高校在学中にバラバラのタイミングで18歳になるので、指導については難しいと思います。携帯電話やクレジットカードの契約などが可能となるようですが、学校では悪質な業者に騙されない賢い消費者となるための教育を家庭科の授業の中で行うこととしています。

#### 携帯電話の利用

五島高校では、現在でも携帯電話の学校への持ち込みは建前上は禁止されています。しかし実際は、家族との連絡のためと称して携帯電話を所持している生徒は多数いて、授業の妨げにならない限りは黙認している状況だと思います。一方で、都会では小中学生が携帯電話を大人より使いこなしている状況ですので、高校を卒業してからそのような情報通信機器に接するのは非現実的という考え方もあると思います。ただ、一旦開放してしまうと歯止めが難しいところもあり、SNSを通じたイジメなどの問題も懸念されます。

様々な意見もあると思いますが、皆様はどのようにお考えになるのでしょうか？

PTA活動はオックウな一面もありますが、現場の先生方やクラスや学年の保護者の方と身近に接して雰囲気を感じることができます。PTA会長の特権で校長先生や担任の先生方と飲みに行ったり、フランクに情報交換もできます。また、普通は子供たちを通じてしか知ることができない先生方の人柄や個人的な趣味なども感じられて楽しみもあります。

先生方との会話の中で、五島高校の先生方は若くて熱意のある先生が多いと感じました。校長先生のお話では、教員には数年間の離島勤務が義務付けられているとのことで、勤務の時期や赴任先は本人の希望も加味されて決められるようでした。

先生方の中には、若いうちに離島での経験をしたい、また、離島に行くならできれば五島高校に行きたいと考える方が多いので、競争率が高くなって必然的に若くて有能な教員が多くなるということです。五島高校は、現在では県内でも上位の進学校となっていますが、これは進学塾などが無い離島地域の生徒たちに離島のハンデを感じさせてはならないという、先生方の意気込みの賜物で、私たち保護者としては本当に頭の下がる思いでした。

学校現場における先生方の働き方改革も問題と  
なっていますが、保護者の立場からすると学校の  
先生が一番の頼りです。ご自身の家庭生活と同等  
か、それ以上に生徒のことを考えて生徒の指導に  
あたっておられる先生方の気持ちに対して、私た  
ちが協力できることは、学校生活がスムーズに進  
むように家庭での躰や日頃の生活習慣を管理する  
ことと感じました。

周囲の方々に恵まれたおかげですが、会長のバ  
トンを次年度へ渡すことができ肩の荷が降りて  
ホッとした気分です。